JJMO 演習問題 A

 $\fbox{A1}$ すべてが等しいわけではない 3 つの実数 x,y,z が

$$x + \frac{1}{yz} = y + \frac{1}{zx} = z + \frac{1}{xy}$$

をみたすとき, $x + \frac{1}{yz}$ の値を求めよ。

A2

$$\begin{cases} x^2 + y^2 = z^2 \\ (x+3)^2 + (y+4)^2 = (z+5)^2 \end{cases}$$

を満たす正の実数 x,y,z について, $\frac{x^2}{yz}$ の値を求めよ。

 $\boxed{{
m A3}}$ 正の実数 a,b,c に対し,

$$(a^{2}+1)(b^{2}+1)(c^{2}+1) \ge (a+b)(b+c)(c+a)$$

が成立することを示せ。

JMO 演習問題 A

A1 正の実数 a,b,c に対して,

$$\frac{a^2+1}{b+c} + \frac{b^2+1}{c+a} + \frac{c^2+1}{a+b} \ge 3$$

が成り立つことを示せ。

A2 正の実数 x, y, z に対して,

$$\frac{x}{(2x+y+z)^2} + \frac{y}{(2x+2y+z)^2} + \frac{z}{(2x+2y+2z)^2} < \frac{1}{2x+2y+2z}$$

が成り立つことを示せ。

 $\fbox{A3}$ 実数に対して定義され実数値をとる関数であって,任意の実数 x,y について,

$$f(x^4 + f(y)) = f(x)^4 + y$$

をみたすものをすべて求めよ。

JJMO 演習問題 A —解答—

A1

 $x \neq 0, y \neq 0, z \neq 0$ のもとで,

$$x + \frac{1}{yz} = y + \frac{1}{zx} \Leftrightarrow x - y = \frac{y - x}{xyz} \Leftrightarrow (xyz + 1)(x - y) = 0$$

同様に,

$$(xyz + 1)(y - z) = 0, (xyz + 1)(z - x) = 0$$

ここで、 $xyz \neq -1$ とすると、x = y = z となり矛盾。よって、xyz = -1。ゆえに、

$$x + \frac{1}{yz} = x + (-x) = 0$$

A2

第二式を展開すると, 第一式より,

$$(x+3)^2 + (y+4)^2 = (z+5)^2 \Leftrightarrow x^2 + 6x + 9 + y^2 + 8y + 16 = z^2 + 10z + 25$$
$$\Leftrightarrow 3x + 4y = 5z$$

再び第一式を用いて,

$$(3x+4y)^2 = 25z^2 = 25(x^2+y^2)$$

ここで,

$$(3x+4y)^2 = 25(x^2+y^2) \Leftrightarrow 16x^2 - 24xy + 9y^2 = 0$$
$$\Leftrightarrow (4x-3y)^2 = 0$$

より, $y=\frac{4}{3}x$ 。これを第一式に代入して, $z=\frac{5}{3}x$ もわかる。ゆえに,

$$\frac{x^2}{yz} = \frac{x^2}{\frac{4}{3}x \cdot \frac{5}{3}x} = \frac{9}{20}$$

(→ 図形的に考えてもできます。)

A3

$$(a^{2}+1)(b^{2}+1) - (a+b)^{2} = a^{2}b^{2} - 2ab + 1 = (ab-1)^{2} \ge 0$$

などから,

$$(a^{2} + 1)(b^{2} + 1) \ge (a + b)^{2}$$
$$(b^{2} + 1)(c^{2} + 1) \ge (b + c)^{2}$$
$$(c^{2} + 1)(a^{2} + 1) \ge (c + a)^{2}$$

この三式を辺々かけあわせて、(a,b,c>0 に注意して) ルートをとれば、

$$(a^2+1)(b^2+1)(c^2+1) \ge (a+b)(b+c)(c+a)$$

を得る。

JMO 演習問題 A —解答—

A1

相加相乗平均の不等式より、 $a^2+1 \ge 2\sqrt{a^2}=2a$ などが成り立つので、

$$\frac{a^2+1}{b+c} + \frac{b^2+1}{c+a} + \frac{c^2+1}{a+b} \ge \frac{2a}{b+c} + \frac{2b}{c+a} + \frac{2c}{a+b}$$

さらにこの右辺について、Engel型のコーシー・シュワルツの不等式より、

$$\frac{2a}{b+c} + \frac{2b}{c+a} + \frac{2c}{a+b} = \frac{a^2}{\frac{ab+ac}{2}} + \frac{b^2}{\frac{bc+ba}{2}} + \frac{c^2}{\frac{ca+cb}{2}}$$

$$\geq \frac{(a+b+c)^2}{\frac{ab+ac}{2} + \frac{bc+ba}{2} + \frac{ca+cb}{2}}$$

$$= \frac{(a+b+c)^2}{ab+bc+ca}$$

よって,

$$\frac{(a+b+c)^2}{ab+bc+ca} \geq 3$$

を示せば十分であるが、これは

$$(a+b+c)^2 - 3(ab+bc+ca) = \frac{1}{2}\{(a-b)^2 + (b-c)^2 + (c-a)^2\} \ge 0$$

から直ちに示される。

A2

$$\frac{x}{(2x+y+z)^2} + \frac{y}{(2x+2y+z)^2} + \frac{z}{(2x+2y+2z)^2}$$

$$< \frac{x}{(x+y+z)(2x+y+z)} + \frac{y}{(2x+y+z)(2x+2y+z)} + \frac{z}{(2z+2y+z)(2x+2y+2z)}$$

$$= \frac{1}{x+y+z} - \frac{1}{2x+y+z} + \frac{1}{2x+y+z} - \frac{1}{2x+2y+z} + \frac{1}{2x+2y+z} - \frac{1}{2x+2y+z}$$

$$= \frac{1}{x+y+z} - \frac{1}{2x+2y+2z} = \frac{1}{2x+2y+2z}$$

よりよい。

A3

与式においてxに0を代入して、

$$f(f(y)) = f(0)^4 + y (1)$$

この右辺は全実数値をとりうるので f は全射。ゆえにある α が存在して, $f(\alpha)=0$ 。 また,f(a)=f(b) になったと仮定すると,(1) 式において y に a,b をそれぞれ代入して,

$$f(f(a)) = f(0)^4 + a$$
$$f(f(b)) = f(0)^4 + b$$

$$f(a) = f(b) \Rightarrow a = b$$
 (f は単射)

与式において、 $(x,y) \rightarrow (\alpha,\alpha)$ として、

$$f(\alpha^4 + f(\alpha)) = f(\alpha)^4 + \alpha \Leftrightarrow f(\alpha^4) = \alpha \tag{2}$$

与式において、 $(x,y) \rightarrow (-\alpha,\alpha)$ として、

$$f((-\alpha)^4 + f(\alpha)) = f(-\alpha)^4 + \alpha \Leftrightarrow f(\alpha^4) = f(-\alpha)^4 + \alpha \tag{3}$$

(2)(3) より、 $f(-\alpha)^4=0\Leftrightarrow f(-\alpha)=0$ 。 $f(\alpha)=0$ でもあるので、f の単射性から、 $-\alpha=\alpha\Leftrightarrow\alpha=0$ 。つまり、f(0)=0 であるので、(1) より、

$$f(f(y)) = y \tag{4}$$

与式において、yをf(y)として、(4)より、

$$f(x^4 + f(f(y))) = f(x)^4 + f(y) \Leftrightarrow f(x^4 + y) = f(x)^4 + f(y)$$

ゆえに f は狭義単調増加関数である。実際,

$$z > y \Rightarrow f(z) = f((z - y) + y) = f(\sqrt[4]{z - y})^4 + f(y) > f(y)$$

(4) 式と合わせて (予習用問題と同じ議論をして)、求める f は f(x) = x。